

平成28年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

《 会員からの各市町紹介 》



■ 敦賀市副市長 中山 和範

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました福井県敦賀市の中山と申します。よろしくお願ひ致します。ご紹介をさせていただく前に昨年度の「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会」を敦賀市で開催をいただき多くの皆様にお越しをいただきました。誠にありがとうございました。改めまして本市の概要について紹介をさせていただきたいと思ひます。皆さんもご存知かと思ひますが、敦賀市の位置と言ひますと、ほぼ日本列島の中央にございまして、関西、中京の方から交通アクセスも大変便利な部分がございます。しかしながら、イメージとしては原子力の街、敦賀といったようなイメージもある方が多いのではないかと思ひますが、最近の若い明るい話題といたしましては、昨年春に甲子園選抜で敦賀気比高校が優勝をしまして、それで少し明るい敦賀と元気な敦賀といったことで、覚えを明るくしていただいたと思ひております。そして私共の敦賀港の主な岸壁等々という事がございますけれども、敦賀港は古くから天然の良港で1600年以上の歴史を持っております。まず、内航のフェリー岸壁、内航RORO船の岸壁、国際コンテナ岸壁、そして国際RORO船岸壁等々を擁しております。まだまだ荷揚げ扱い量としては少ないところで、今後扱い量を高めていけるよう頑張っていきたいと考えているところでございます。そして、少し歴史的なところで申し上げますと、1902年明治35年にロシア、ウラジオストックとの

間で直通の航路が開かれておりまして、その先のシベリア鉄道の開通により、ヨーロッパとの最短路として脚光を浴びるようになりました。そしてその10年後の明治45年には、東京新橋駅と敦賀が繋がったことによって、「欧亜国際連絡列車」というものが運行され、敦賀港はヨーロッパ各国に直結する国際港として発展をしてまいりました。そういったところに裏付けられる形の中で、1919年この頃になりますとロシア国内というのは革命、反革命等の勢力を争う内戦状態にあるという事から、この動乱の中、シベリアで家族を失ったポーランド孤児を救う為に当時の政府が救済を決断いたしまして、日本赤十字に依頼をして孤児達の受け入れを行いました。彼らはロシアのウラジオストックから敦賀港に入港し、第三国を経由してポーランドへ帰国したという事でございます。その間、敦賀に滞在したのは数時間から1日程度ということでございますけれども、その短い時間ではありましたが、当時の敦賀の人達はその子供達を温かく迎え手を差し伸べたというふうにも聞いております。その数が763名、この子供たちが1人も病気、亡くなることなく本国へ帰ったということでございます。そしてまた昨年、杉原千畝の映画も上映されたという事で脚光を浴びておりますけれども、「命のビザ」というところでございますが、第2次世界大戦当時リトアニア領事の代理であった杉原千畝氏がナチスの迫害から逃れようとしたユダヤ難民6,000人に日本通過のビザを発給いたしました。そしてこの命のビザを持ったユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港が敦賀港でございます。当時、敦賀の港に第一歩を記した人達からは「天国のようだ」というふうに言っていたという事を後に聞かされたところでございます。そして港の緑地には、人道の港「敦賀ムゼウム」いう資料館を建設いたしまして、この史実について命を繋ぎ、優しい日本人がいた場所といったところの紹介をする施設となっております。そしてまたそのすぐ近くに「赤レンガ倉庫」2棟がございます、これが国の登録有形文化財に登録されておりますが、当初建設された頃は石油の貯蔵庫として、また昆布の貯蔵庫として使われておりましたが、2015年昨年新たにその中にジオラマ館、レストラン館というものをリニューアルいたしまして、現在皆様にお越しいただき当時の面影を忍んでいただく、そして敦賀の美味しいものを食べていただく場所となっております。そしてその他の見所として少しご紹介をさせていただきますと、「気比神宮」でございますが、この気比神宮の入口の大鳥居でございますが、広島の大厳島神社、奈良の春日大社と並ぶ、日本三大木造鳥居という事で、国の重要文化財にも指定されている鳥居でございます。そして「気比の松原」、これは静岡県三保の松原、佐賀県の虹の松原と並びまして日本三大松原の1つとして数えられ、一夜にして数千本の松が現

れたという伝説のある松原でございます。そして食という事で言いますと、「越前ガニ」
「敦賀ふぐ」とございますが、毎年11月に解禁をいたします越前ガニ、そしてまた同時期
に味わっていただく敦賀ふぐ、こういったものもわりとリーズナブルに召し上がっていた
だけます。また敦賀の方にもお越しいただければというふうに思います。ちょっと拙い説
明でしたが敦賀へお越しの際は声をお掛けいただければと思います。どうぞよろしくお願
い致します。